

宮柁二記念館だより

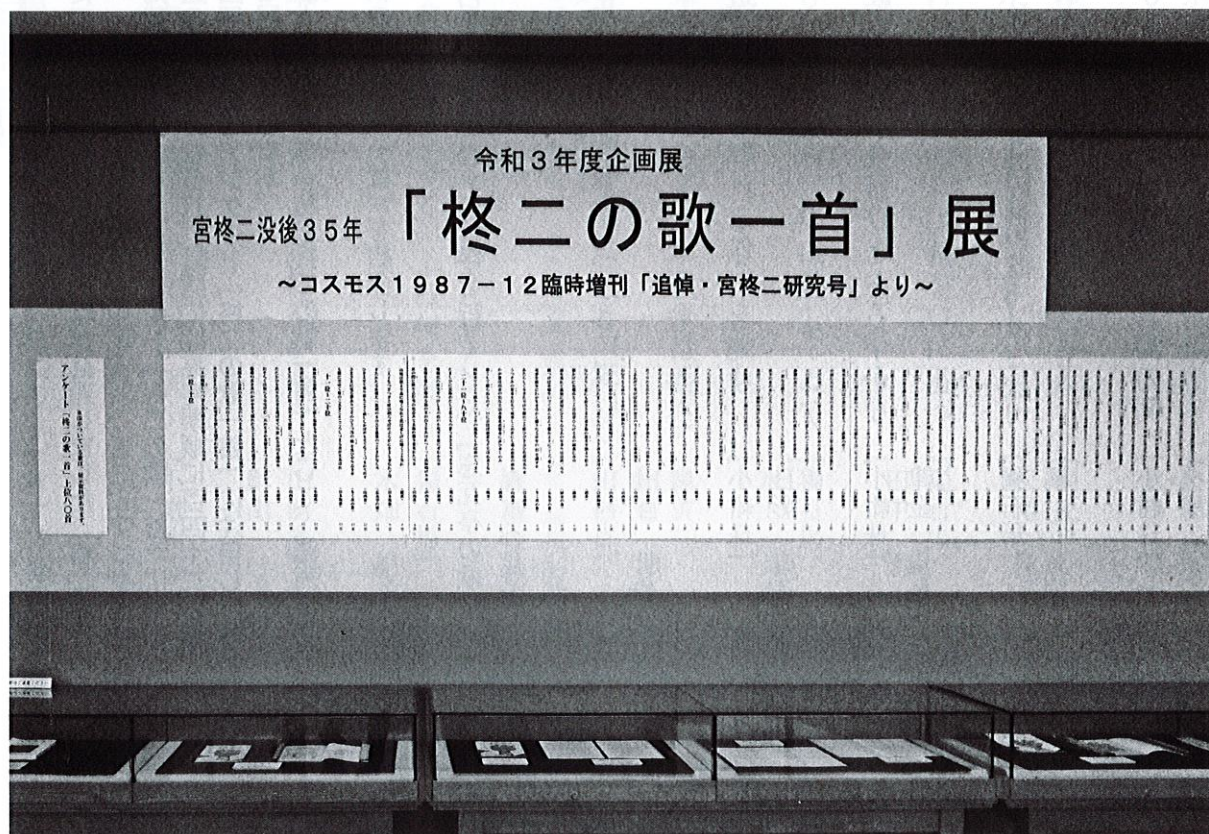
2022.1.18

第55号

発行 宮柁二記念館

TEL・FAX

025-794-3800



アンケート「柁二の歌一首」上位80首

柁二の歌一首

令和三年度も『新型コロナウイルス感染症』とともに過ごす一年間となりました。新しい生活様式・ワクチン・治療薬等々、対抗手段は次々と具体化するものの、当初から指摘のとおり「変異株」も次々と現れ、その都度大きな波が押し寄せています。

宮柁二記念館では、来館者への対応並びに各種事業の実施に際して、身体的距離の確保・換気・体温測定・マスク着用・手指消毒など可能な範囲で対策をとっています。また、団体での来館に際しては、一回の入場者数を制限しています。短歌教室などは、会場を記念館からより広い施設へと変更しました。それでも、企画展オープニングセレモニーや短歌大会表彰式など、県内外から大勢の参加者が予想される事業は、中止せざるを得ませんでした。

さて、発端は岡崎康行先生のお話でした。「宮先生の短歌を学ぶ際にぜひ読んでほしい百首ほどの歌がある。『コスモス』の特集で取り上げられている。」小島前館長からお聞きした岡崎先生のお話です。ここから令和三年度企画展「柁二の歌一首」展は始まりました。

まずは、当該「コスモス」の搜索です。候補は二冊見つかりました。一冊目は、二〇一二年八月号、宮柁二生誕百年記念特集。会員百人による秀歌鑑賞「百人が読む宮柁二作品」。二冊目は、一九八七年十二月臨時増刊「追悼・宮柁二研究号」。アンケート「柁二の歌一首」で高得票の百四十二首とコスモス会員による八十位までの歌の鑑賞文。岡崎先生のお話にあった「コスモス」は後者でした。そこで、アンケートのタイトルをそのまま企画展のタイトルとしました。

次に、宮柁二記念館運営委員である高野公彦先生から助言をいただき、「コスモス」選者、宮柁二記念館全国短歌大会歴代選者、そして、新潟県内のコスモス短歌会歌人の皆様から「私の柁二の歌一首」をご紹介します。

企画展は三月末まで開催しています。皆様に安心してご覧いただけるよう様々な対策を講じておりますので、ぜひお訪ねください。

「柗二の歌一首」展

昭和六十一年十二月に宮柗二が逝去してから三十五年が経過しました。柗二逝去の翌年十二月、コスモス臨時増刊「追悼・宮柗二研究号」が出版され、そこにアンケート「柗二の歌一首」の集計結果が掲載されています。アンケート「柗二の歌一首」には、コスモスの会員から千二百十七通の回答が寄せられ、紙面には高得票順に百四十二首が紹介されています。今年度の企画展は、このアンケート「柗二の歌一首」に注目し、高得票の歌を中心に関連する資料を展示しています。

さらに、コスモス短歌会歌人の皆様から「私の柗二の歌一首」として、鑑賞文を寄せていただきました。

歌人の皆様が選ばれた「私の柗二の歌一首」を紹介します。

大雪山の老いたる狐毛の白く変りてひとり径を行くとふ『忘瓦亭の歌』

森重香代子

おそろくは知らるるなけむ一兵の生きの有様をまつぶさに遂げむ『山西省』

田宮 朋子

たたかひを終りたる身を遊ばせて石群れる谷川を越ゆ

日影 康子

孤独なる姿惜しみて吊し経し塩鮭も今日ひきおろすかな

津金 規雄

たましひに見極めたしと思ふもの歌うまきより文うまきより

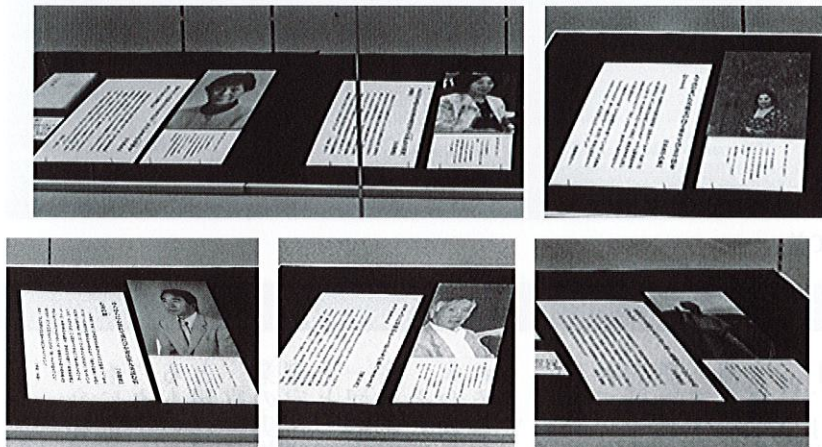
橘 芳園

ゆらゆらに心恐れて幾たびか憲法第九条読む病む妻の側

桑原 正紀



コスモス臨時増刊号



岡崎康行氏を偲んで

抽出歌は一見すると、湯船を満たす豊かな湯を歌って波立たない歌である。が「溢れ出でつつ」や結句には若いころの激情ではなく、コスモス発行という堅実な場に注ぐ心が視えるだろう。



宮柗二記念館開館当初からご支援いただいた新発田市在住の歌人岡崎康行さんが、令和三年十月十一日に八十一歳で逝去されました。岡崎さんは、宮柗二記念館運営委員、短歌大会選考、短歌教室指導者、宮柗二講座等における講演など様々な場面でご支援をいただきました。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。合掌

湯口より溢れ出でつつ秋の灯に
太東の湯のかがやきとおつ
『多く夜の歌』

先生は地方の会員にとっては静かで穏やかな人であった。少なくとも新潟県の会員では声を大にして怒られたという話は知らない。指摘されたことがあった。北海道の定山溪での大会で休憩中、私には誤字が多いと言われたのである。そのときも非常に穏やかな口調であった。

たたかひの惨たる終り偲ぶとき椎にのぼれる子は幾歳ぞ

『小紺珠』
水島 晴子

梅の花ぎつしり咲きし園ゆくと泪ぐましも日本人われ

『晩夏』
松尾 祥子

塞出でてい行く曠野の寒ければ馬上の人は袖を口に当つ

『獨石馬』
田中 愛子

一涯なる感じ、草むらのひとつところに陽は差してゐて

『獨石馬』
水上 芙季

中国に兵なりし日の五ヶ年をしみじみと思ふ戦争は悪だ

『純黄』
摩尼 久晴

表現は生の営為につながると我はしも言へりこころ定めて『多く夜の歌』

武田 弘之

鳥にあり獸にあり他にあり我にあり生命といふは何を働く

『獨石馬』
木畑 紀子

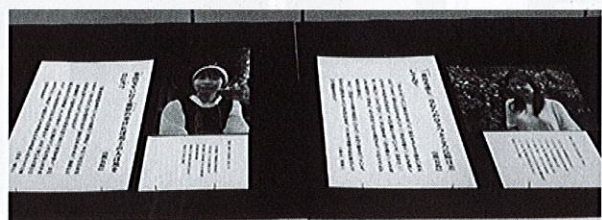
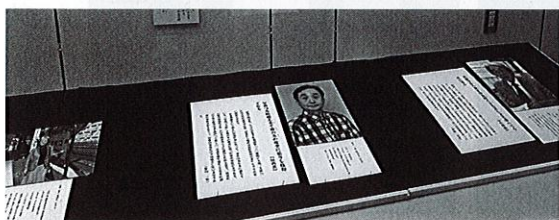
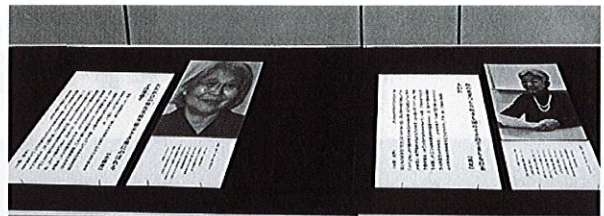
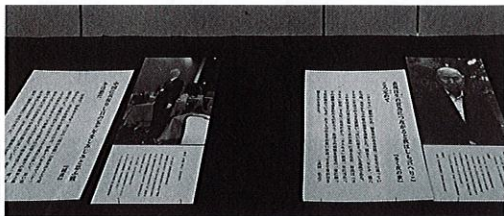
星満つる峠越え来て櫛の木の夜空に張りし枝仰ぐかも

『山西省』
影山 一男

英雄で吾ら無きゆゑ暗くとも苦しとも堪へて今日に従ふ

『小紺珠』
高野 公彦

以上、「私の柎二の歌一首」の中で、アンケート「柎二の歌一首」の紙面に掲載された百四十二首に含まれている十五首です。

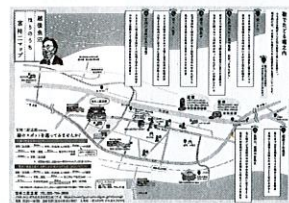


お知らせ

「越後魚沼ほりのうち宮柎二マップ」のご紹介

「越後魚沼ほりのうち宮柎二マップ」を作成しました。宮柎二記念館ホームページ「歌でたどる堀之内」に掲載された短歌をはじめとして、柎二が歌に詠んだ堀之内の風景や生活の場などをイラストマップにしました。それぞれの場所をお訪ねいただく際の手掛かりとしてお使いください。

なお、裏面には、柎二が作詞した校歌、歌碑や道標に刻まれた歌を載せました。



「宮柎二記念館オリジナル短歌手帳・木製しおり」のご紹介

宮柎二記念館を訪れた記念になるものが欲しいとの皆様の声にお応えすべく、「宮柎二記念館オリジナル短歌手帳と木製しおり」を作成しました。宮柎二記念館で販売しています。



この他に九名の方が、アンケート「柗二の歌一首」には掲載されていない歌を「私の柗二の歌一首」として選ばれました。

行春の銀座の雨に来て侍り韃靼人セミヨーンのごときおもひぞ

『晩夏』
大松 達知

湯口より溢れ出でつつ秋の灯に太東の湯のかがやきておつ

『多く夜の歌』
岡崎 康行

怒をばしづめんとして地の果の白大陸暗緑海をしのびみたりき

『多く夜の歌』
奥村 晃作

狩野君に手をひかれつつニキロほどの今朝の散歩をやうやくなせり

『純黄』
狩野 一男

原子の火ともらん日にて蛇籠編む歌一首選ることの寂しき

『多く夜の歌』
小島ゆかり

はうらつにたのしく酔へば帰りきて長く坐れり夜の雛の前

『多く夜の歌』
小山富紀子

戸を引けばすなはち待ちしもののごと入り入り来ぬ光といふは

『獨石馬』
原賀 環子

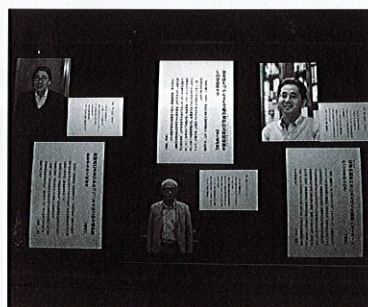
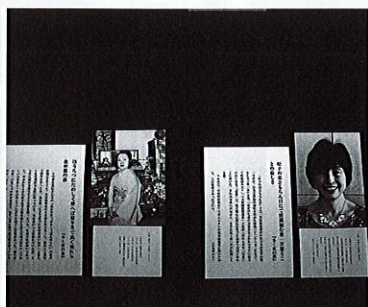
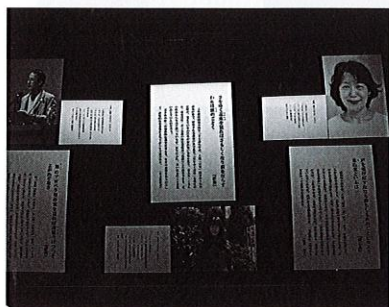
空をゆく花束を見ればさもしくなり齒を鳴らすわれは獣のごとく

『群鶏』
水上比呂美

楓のプロペラ型の実を見れば南風うけつつそよがぬぞなき

『群鶏』
宮里 信輝

二十四名の歌人の皆様からお寄せいただいた「私の柗二の歌一首」は、鑑賞文とともに企画展資料として冊子にまとめ、記念館にお出でいただいた方にお配りしています。



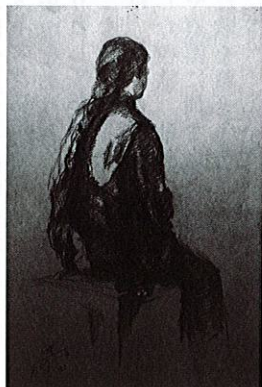
令和3年度事業①

宮芳平デッサン展

「宮芳平デッサン展」を9月11日から11月12日まで開催しました。

宮芳平（1893～1971）は宮柗二の叔父にあたり、堀之内に生まれました。旧制柏崎中学を卒業後、東京美術学校（現東京藝術大学美術学部）に学びます。その後、長野県諏訪で35年間の教師生活を送りました。森鷗外の短編小説「天龍」のモデルになった画家です。

令和元年度に寄贈いただいた新規収蔵資料を昨年度から順次紹介しています。



令和3年度事業② これまでに宮柁二記念館が行った事業をご紹介します。

施設見学・職場訪問・研修会

堀之内小学校3年生

6月22日、魚沼市立堀之内小学校の3年生が来館しました。

新型コロナウイルス感染症感染予防のため、グループに分かれての見学です。館長が写真や資料を使って宮柁二の生涯と記念館について説明しました。

フラワールーム小学生

7月7日、フラワールーム（魚沼市適応指導教室）の小学生が来館しました。

開催中の令和2年度宮柁二記念館全国短歌大会ジュニア部門入賞者短冊展を見学し、短歌について学習しました。

魚沼北中学校2年生

10月1日、魚沼市立魚沼北中学校の2年生が来館しました。

開催中の宮芳平デッサン展を見学し、デッサンについて学んだ後、展示品のデッサンを行いました。

堀之内中学校1年生

11月2日、魚沼市立堀之内中学校の1年生が職場訪問学習を行いました。

記念館職員と一緒に開館準備作業などを行った後、展示品について説明を聞いたり、館内を見学したりして、宮柁二と宮柁二記念館について学びました。

魚沼市小学校長会

12月1日、魚沼市内の小学校9校の校長先生が来館しました。

宮柁二の生涯を描いたビデオを見たり、施設を見学したりしながら、宮柁二と宮柁二記念館について研修を深めました。

宮柁二講座



7月18日、歌人の田宮朋子先生を講師にお迎えし、宮柁二講座を開催しました。演題は、「宮芳平と宮柁二」です。

芳平の年譜に沿ってその生涯を、芳平の詩を引用してその人となりや、さらには、芳平と柁二との関わりについてお話いただきました。

出前講座Ⅰ－小出高等学校



7月19日・20日、新潟県立小出高等学校でジュニア短歌教室・出前講座を開催しました。講師は、歌人の田宮朋子先生、コスモス魚沼勉強会の内山真由美さん、眞島陽子さんです。講師は、事前に生徒から提出してもらった短歌を添削して返却します。生徒は、その添削を参考に、講師の先生と相談しながら推敲を重ねました。完成した作品は、宮柁二記念館全国短歌大会に出品しました。

出前講座Ⅱ－堀之内小学校



8月30日・31日、魚沼市立堀之内小学校でジュニア短歌教室・出前講座を開催しました。講師は、コスモス魚沼勉強会の皆さんにお願いしました。

各学級とも4名から6名の班に分かれ、各班に一人ずつ講師の先生がつきます。児童は事前につけておいた短歌を講師の先生と相談しながら推敲し、完成させました。完成した作品は、宮柁二記念館全国短歌大会に出品しました。

第27回宮柁二記念館全国短歌大会選者・特別賞受賞者色紙・短冊展



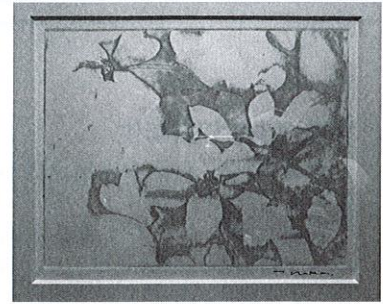
11月13日から1月16日まで、第27回宮柁二記念館全国短歌大会選者・特別賞受賞者色紙・短冊展を開催しました。

選者の川野里子先生と宮里信輝先生からは、色紙とサイン入り歌集をお寄せいただきました。一般部門特別賞入賞者からは自筆色紙を、ジュニア部門特別賞受賞者からは自筆短冊をお届けいただき、これらの作品を展示しました。

なお、選者のサイン入り歌集を記念館にてお求めいただけます。

中林忠良作

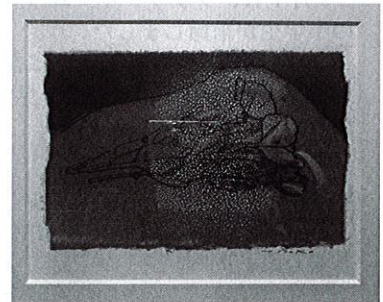
「コスモス」表紙原画



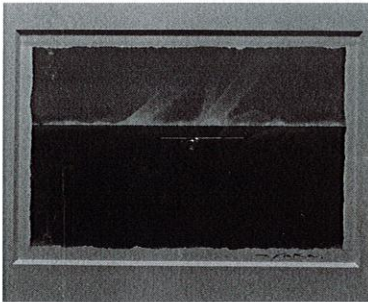
一九九五年二月号



一九九四年十月号



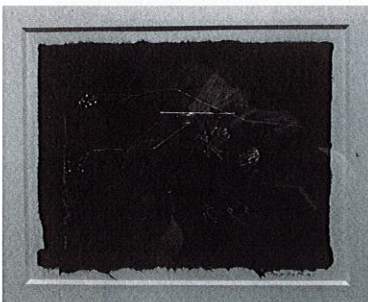
一九九七年十月号



一九九三年九月臨時増刊号



一九九七年六月号

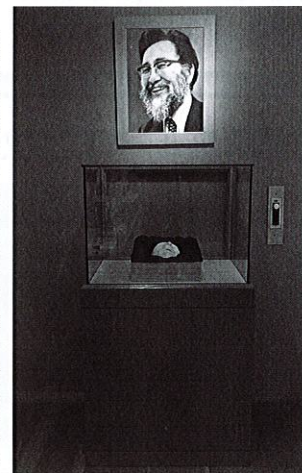


一九九六年九月号

宮柁二記念館収蔵資料紹介 No.55

令和元年度にコスモス会員有志の皆様から
中林忠良作「コスモス」表紙原画6点を寄贈いただきました。

令和二年度事業③
「宮柁二デスマスク」展示しました。



宮柁二の命日(十一月十日)に合わせて、
デスマスクを展示しました。毎年、命日を
はさんで二週間ほど展示しています。

「宮柁二記念館友の会」のお知らせ

宮柁二記念館の活動支援と会員相互の交
流を目的とする「宮柁二記念館友の会」の
会員を募集しています。会員は、宮柁二記
念館への入館料が免除されます。また、記
念館日より等が届けられます。

年会費は1,000円です。詳細は、宮柁
二記念館にお問い合わせください。

「宮柁二記念館短歌教室」のお知らせ

宮柁二記念館では、「コスモス」選者橋芳
園先生を講師として、初心者向けの短歌実
作講座「宮柁二記念館短歌教室」を開催し
ています。4月・8月・12月を除く年9回、
原則として毎月第二日曜日に堀之内公民館
で開催します。年度途中からの参加、添削
のみの参加も歓迎します。

年会費は3,000円です。詳細は、宮柁
二記念館にお問い合わせください。

宮柁二記念館だより 第55号

発行 2022. 1. 18

問合せ 宮柁二記念館 (〒949-7413 新潟県魚沼市堀之内117-6) TEL・FAX 025-794-3800

メール miya-museum@city.uonuma.lg.jp ホームページ <https://www.city.uonuma.niigata.jp/miyashuji/>